

芝谷地湿原の植物①



ザゼンソウ (サトイモ科)

芝谷地の雪は、わずかなわき水が流れ出る辺りから解けはじめ、3月半ばごろには、あつという間に雪解け水でいっぱいになります。ザゼンソウは、このころ、周辺にわき水がなくまだ雪が残るような湿地で見ることができます。芝谷地の春一番に咲き、花の色・形が珍しいので人々の目を引きま

す。赤い花びらに見えるのは「苞」といって、実はがくのようなもの。この苞に包まれて立っている穂が花で、まるで苞が寒風から花を守ってくれているようです。花の咲く様子が座禅を組む僧に似ていることからこの植物の名が付いたといわれます。花の見ごろは4月いっぱい。ちょうど今ごろですね。

芝谷地は、低地に残された面積約7ヘクタールの湿原です。東南側は国道7号と接し、西北側一帯は小高い丘によって外部と分離されています。

湿原を覆ってノハナショウブが群生するほか、学術上貴重な湿原植物が多く自生していることから、昭和11年9月3日には「芝谷地湿原植物群落」として国の天然記念物に指定されています。今号からはここ芝谷地周辺に自生する植物をご紹介します。

編集後記

□四月の人事異動により、古巣である広報広聴係に配属となりまして一回目の広報です。前任者と同様に、初心を忘れず、市民に喜ばれる広報づくりを心掛けていきたいと思っておりますので、ご協力をお願い申し上げます。(ま)

□人事異動で現職場に配属となり、何をしているのかわからないうちに今回の発行を迎えました。広報のベテランが抜けた穴を担当者三人が力を合わせてカバーし、今まで以上に市民に親しまれる広報にしていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。(咲)

□去年の春この職場に私を迎えてくれた先輩二人が四月一日付で他課へ異動、新たに二人の職員が配属されました。いずれも私より年長者ですが、現役広報担当者としてはなんと私が最古参(ま)の立場に。責任は重大です。新体制のもと、失敗が多くなるかもしれませんが、試行錯誤しながら仕事を楽しまねば、と思っております。よろしく。(ゆ)

☎ 広報おおだて 平成7年4月16日号(No.627)

発行/大館市 〒017秋田県大館市字中城20番地

☎ 0186-49-3111

編集/総務部総務課広報広聴係内(内線258)

(表紙: 7年度市功労者表彰式)



広報「おおだて」は再生紙を使用しています。